



校長 金子 俊成

新1年生を迎えて

4月11日（木）午後から、新1年生を新2・3年生が迎える「新入生オリエンテーション」が体育館で開かれました。2日前に入学したばかりの新1年生にとって、大泉北中学校で見ることに体験することの全てが新鮮です。新2・3年生たちは、慣れない環境に入って不安や心配をしている新1年生に、とっても温かい言葉を掛けて励ましています。また、どの新1年生も、小学生モードからより中学生らしく変わる、魔法のツールを手に入れようと必死になっているいろいろなことに真剣に取り組んでいます。そして、10日（水）には、たくさんの教科書が一人一人に配られました。学校からの帰り道は、教科書がいっぱい詰まったかばんの重さに、中学生になったことを実感したのではないのでしょうか。こうして少しずつ、中学生らしく、そして、北中生らしく成長していきます。大北中を選んで入学した誰もが、3年後に大北中で良かったと心から思えるように、この学校で一日一日真剣に学び合い、いろいろなことに挑戦して大人に成長し卒業して欲しいと願っています。

さて、9日（火）の入学式では、1年生に中学校生活で特に頑張りたいことを三つお話ししました。それは、「しっかり学習する中学生」、「思いやりのある中学生」、「自分の個性や特徴を磨く中学生」の三つです。中学校生活は小学校6年間の半分なので、これからの3年間は、瞬く間に過ぎていきます。そして、この3年間の心身の成長はめざましいばかり、心身のバランスが不安定なことさえあります。思春期、難しい年頃と言われているように、中学生自身でも、自分の感情のコントロールに苦しむこともあるようです。人生の中でも急激な成長をみるこの中学生時代は、大局の目標を常に追いかけることで、自己の完成が進むと思えてなりません。これから大泉北中学校で中学校生活を本格的に始めた新1年生に、この三つのことを心の片隅に留めて、日々邁進してくれることを願っています。



新入生歓迎会

4月11日（木）新入生歓迎会行われました。生徒会役員による学校生活や行事の紹介、各部がそれぞれ工夫をこらした部活紹介などがありました。1年生は、これから初めて体験する委員会活動や部活動が始まります。26日（金）までは、部活動の体験入部の期間です。先輩たちとこれから接していく中で、早く大北中に慣れていって欲しいです。そして大北中の伝統の元気なあいさつを継承していってください。

4月後半・5月初旬の予定

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 4月18日（木）歯科検診 | 4月24日（水）国学力調査（3年） |
| 19日（金）情報モラル教育（1年）・保護者会（1・3年） | 5月2日（木）スポーツテスト・健康診断 |
| 4月22日（月）～26（金）二者面談・家庭訪問 | 〃 離任式 |

※1年生は19日の保護者会の前に、メールや携帯電話の正しい使用法を学習する情報モラル講習会を行います。

1 教育目標

人間尊重の精神を基に、心身ともに健康で、広く国際社会において信頼と尊敬が 得られる豊かな人間性を培う。また、基礎・基本を大切に、生涯を通じて自ら学 び、自ら考え正しく判断して行動する生徒を育成する。その実現に向け、次の目標 を設定する。

・自ら学ぶ人間 ・思いやりのある人間 ・明るく健康な人間

2 目指す学校像

教育目標を達成するため、本校の伝統と実績を踏まえ、生徒にこれからの社会を 生き抜くための確かな学力と豊かな人間性、健康・体力を調和し向上させることのできる学校を目指す。

(1)授業が分かれば、学校が楽しい (2)感動のある学校
(3)生徒主体の学校 (4)使命を果たす学校

- (1) 基礎的な知識・技能を確実に定着させ、確かな学力を身に付けさせ、たくましい体を作る学校
 - ・分からないことは分かるまで学べる ・努力した人が報われる
- (2) 学校・家庭・地域社会と協力し、思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育む学校
 - ・自分の輝ける場所がある ・行事で感動し合える ・一所懸命
 - ・違いを認め合える ・困っている人を見逃さない
- (3) 基本的な生活習慣と社会生活におけるルールを身に付け、生徒が主体性を発揮できる学校
 - ・ダメなことはダメと言える ・チャレンジする気持ちを忘れない
 - ・嘘をつかない、言い訳をしない、人のせいにしない
 - ・あいさつができる ・いじめをしない、見逃さない、許さない
- (4) 保護者や地域に信頼され、愛される学校
 - ・地域を知り、地域で体験し、地域に貢献する。
 - ・教育は人なり。教職員が生徒のために全力を尽くす。

3 教育活動の中期的目標

- (1) 教育目標「自ら学ぶ人間」を達成するために
 - ・授業時数を確保し授業改善に努めて、分かる授業と分かる評価を徹底する。
 - ・基礎学力の確実な定着と学習意欲の向上を図るために、朝読書・朝学習、少人数授業や夏期学力補充教室、補習や質問教室等の学習支援を充実させる。
 - ・ICT教育を充実させる。 ・分かる授業のための授業研究を充実させる。
- (2) 教育目標「思いやりのある人間」を達成するために
 - ・生徒の実態に即した3年間を見通した進路指導計画に基づき、生き方指導を充実させる。
 - ・行事を中心とした体験活動を重視し、思いやりの心を育む。
 - ・教育環境の整備に努める。人権教育、道徳教育、特別活動を充実させる。
 - ・生活のベースとなる学年経営、学級経営の充実と相談活動を重視する。
 - ・いじめの根絶を目指して組織的に取り組む。
- (3) 教育目標「明るく健康な人間」を達成するために
 - ・チームティーチングによる保健体育授業や体育的行事の充実を図り、健康増進、体力向上を目指す。
 - ・食育、保健指導、健康・安全教育、情報モラル教育、薬物乱用防止教育等を充実させる。
 - ・生徒が主体的に活動する部活動を大事にし、全教職員で活動支援する。
 - ・保護者・地域社会、関係機関と協力して生徒の健全育成に努める。
- (4) 「保護者や地域に信頼され、愛される学校」を達成するために
 - ・教育公務員としてのコンプライアンスを遵守し、開かれた学校を目指す。
 - ・学校評価や保護者・地域の声を受け止めて、期待に叶う教育活動を推進する。
 - ・地域行事へのボランティア参加、小学校や地域社会との連携の強化を図る。

4 今年度の教育活動の目標と実現に向けた方策

(1) 自ら学ぶ生徒の育成

- ・学力向上に向けた取組として、毎時の授業の目標を明確に生徒に示し、生徒の学習意欲を引き出す「分かる授業」に取り組む。「言語活動」を重視する。
- ・15分間の朝読書、朝学習に全校体制で取り組む。
- ・個に応じた指導の充実を図るため、数学授業において、ティームティーチングや少人数授業に取り組む。更に、学力向上支援講師（数学）を投入する。
- ・5日間の夏期学力補充教室と夏季休業最終日の半日授業を実施する。補習や質問教室の実施、適度な宿題を課すなど、家庭学習支援の取組を強化する。
- ・電子黒板やデジタルカメラ等、ICTを活用した授業に取り組む。更に、図書館支援員と共に図書館運営を充実させる。
- ・授業力向上のための授業研究・研修を充実させる。
- ・各種検定制度の積極的な活用、コンテスト形式の小テストの実施で学習意欲の向上・継続を図る。
- ・近隣小学校とは、小中連携推進教員を中心に連携を強化を図る。

(2) 思いやりのある生徒の育成

- ・道徳授業は道徳教育推進教師を中心に指導計画に沿って実施し、心を育てる。
- ・キャリア教育の視点に立ち、職場体験、福祉・奉仕活動を重視する。
- ・学校行事、部活動、職場体験、奉仕活動、生徒会活動等の様々な活動の企画と運営に生徒を参加させ、生徒が主役・主体の場となるように支援する。
- ・防災教育をはじめ、自他の生命を大切にする指導を徹底する。また、アンケート調査を年3回以上実施し、いじめ防止と解消を図る。
- ・弁護士による「いじめ予防授業」を実施して、人権感覚を向上させる。
- ・学校生活上の問題を生徒自らに考えさせ、解決させる努力をする。
- ・報告・連絡・相談を大切にし、学年組織・分掌組織が共通理解と共通実践により授業規律や生活規律を高め、安全・安心な学校づくりを進める。
- ・特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、学校生活支援員等による部会を毎週開催し、相談体制を充実させる。
- ・校舎内外の環境美化・整備に努める。

(3) 明るく健康な生徒の育成

- ・規律正しい生徒、あいさつのできる生徒を各種キャンペーン活動で育成する。
- ・部活動参加を奨励し、参加することによる所属感・自己有用感、達成感・充実感、技術習得等の喜びを実感させ、学校生活を充実させる。
- ・生徒、保護者との面談・相談の機会を年2回程度実施する。また、不登校生徒との連絡を密にとり、担任・校長による面談を実施する。
- ・生徒理解に基づく学年・学級経営を行う。また、毅然とした生徒指導と心のこもる丁寧で温かな生徒指導を実行する。カウンセリングマインドの実践。
- ・情報モラル（携帯・パソコン）の向上に関する学習に取り組む。
- ・年間を通して「積み立て式体力づくり」を実施し健康増進と体力向上を図る。
- ・食育と保健指導を進め、給食試食会や食育講習会を実施する。

(4) 保護者や地域に信頼され、愛される学校

- ・学年だより、学校だより、保健だより、給食だより等、また、学校ホームページによる学校情報発信、土曜日授業による学校公開に努める。
- ・土曜日授業を、多数の保護者や地域の方に参観していただけるよう工夫する。
- ・教育活動アンケートや土曜日授業での意見や感想を生かし教育計画を改善する。
- ・家庭と担任との連携を基本に据え、保教の会、青少年健全育成団体・避難拠点運営協議会等との連携を図る他、子ども家庭支援センター、主任児童委員等との連携に努めて生徒指導と教育活動の充実を図る。

5 重点評価項目及び評価指標

		評価項目	評価指標	保護者・地域		生徒		教職員	
				努力指標	成果指標	努力指標	成果指標	努力指標	成果指標
学 力 の 向 上	自 ら 学 ぶ 生 徒	・学習意欲を引き出す分かる授業	・ICTの活用（電子黒板）	A		A		A	
		・朝学習と朝読書の取組と成果	・基礎、基本が身に付いた	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
豊 か な 人 間 性	思 い や り の あ る 生 徒	・防災教育や避難訓練	・自他の生命の尊重	A		A		A	
		・道徳授業や道徳指導	・授業が充実していた	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
生 き る 力 ・ 健 康 な 生 徒	明 る く 健 康 な 生 徒	・情報モラル講習	・情報モラルが身に付いた	A		A		A	
		・基本的な生活習慣	・あいさつが進んでできた	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
地 域 連 携 ・ 社 会 貢 献	保 護 者 地 域 の 信 頼	・学校公開 ・保護者との連携	・参観者、参加者が増えた	A		A		A	
		・学校情報の発信HP、各種便り	・学校、学年のことが伝わった						
		自己評価についての評価結果及び主な意見							

<指標について> とても良い：4 良い：3 改善の余地あり：2 改善が必要：1 の4段階で評価された自己評価（地域、保護者、生徒、教職員）を基にしてA～Dで分類

《 A：4～3.6 B：3.5～2.8 C：2.7～2 D：1.9～1 》